

添付書類 1(情報開示文書)

研究課題「介護予防に関する研究—山武市との共同研究」

① 研究課題名	介護予防に関する研究—山武市との共同研究			
② 実施予定期間	医の倫理委員会承認後～令和 3 年 3 月 31 日			
③ 対象	山武市内に居住している要介護認定者			
④ 対象期間	2014 年 4 月～2017 年 3 月			
⑤ 研究機関の名称	筑波大学 山武市 早稲田大学			
⑥ 研究責任者	氏名	田宮 菜奈子	所属	筑波大学医学医療系 筑波大学ヘルスサービス開発研究センター
⑦ 使用する資料等	介護保険給付実績・国民保険給付実績・後期高齢者医療保険給付実績・健診データ・要介護認定調査・主治医意見書データ ※ただし個人情報は山武市内でのみ取り扱います。個人情報は各資料のデータを組み合わせる(突合する)ためのみ用います。個人情報は筑波大学には提供されません。			
⑧ 研究の概要	<p>健康寿命は健康日本 21(第 2 次)の中で、「日常生活に制限のない期間の平均」を意味しており、具体的には「要介護 2(日常生活動作に介護が必要な状態)になるまでの期間」とされており、この延伸を効果的に実現するためには健康的な生活を送る人全体に対する要介護状態の発生予防のみではなく、要介護状態の前段階である要支援認定後の重症化予防という対策が重要となります。この視点から、要支援認定者が要介護度 2 に認定されるまでの期間(以下、境界期平均寿命)が有用な指標であると言える。また、この重症化予防に係る資源の効率的配置の観点から、地域に住む要支援者の特性と介護予防サービスの利用状況を明らかにし、適切な支援策について検討することが求められております。</p> <p>これまでに、介護予防サービスを利用する要支援認定者の ADL や FIM などの身体機能や生活機能との関連を約 1 年、2 年の短期的または横断的に分析している先行研究は見られているが、要支援認定者の介護予防サービス利用と境界期健康寿命との関連を継続的に分析しているものはなく、本研究では、境界期健康寿命に対する関連要因を対象の基本属性及びサービス利用について探索的に分析することを目的いたします。</p>			
⑨ 倫理審査	倫理審査委員会承認日	2017 年 9 月 20 日		
⑩ 結果の公表	学会や論文等で公表します。			
⑪ 個人情報の保護	結果を公表する場合、個人情報が特定されることはありません。			
⑫ 問い合わせ先・相談窓口	<p>所属・職名・氏名: 山武市保健福祉部高齢者福祉課・課長・横地博 連絡先: 電話 0475-80-2640、mail: yokochi-hiroshi@city.sammu.lg.jp</p> <p>所属・職名・氏名: 筑波大学医学医療系・助教・金雪瑩 連絡先: 電話: 029-853-8849、mail: kinnsetsuei@md.tsukuba.ac.jp</p>			

添付書類1(情報開示文書)

研究課題「介護予防に関する研究—山武市との共同研究」